



電気自動車 (EV)

米国エネルギー情報局 (EIA) や他の予測機関は、4年前の時点で2020年初頭のEVの総販売台数を数十万台と予想していましたが、2018年に145万台、2019年に推定200万台に達したことを受け、今では2024年には650万台に増加すると予測しています。

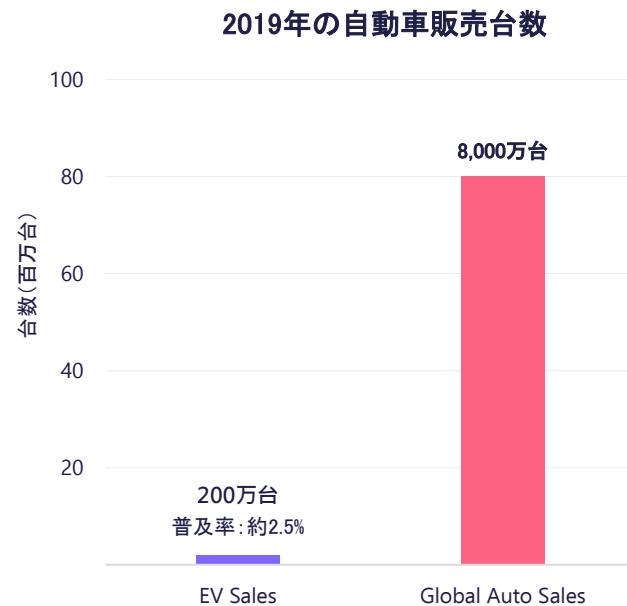
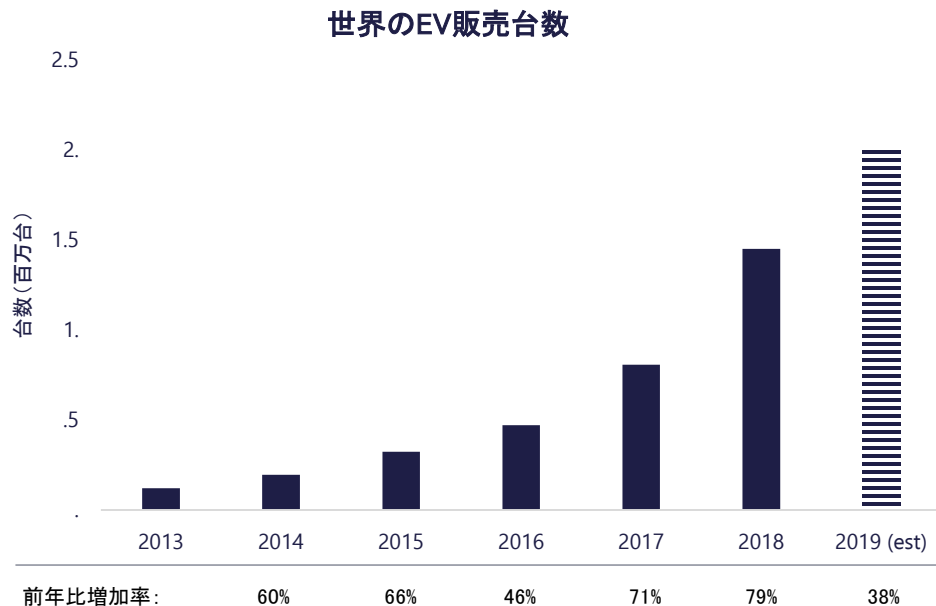
ARKでは、EV市場の発展について大きく異なる見解を持っています。ライトの法則に基づきEV販売は、2024年には予測機関によるコンセンサス予想の6倍となる3,700万台に達すると予測しています。





ガソリン車の販売が減少するなか、EV販売は増加中

向こう5年間に、世界全体の自動車総販売台数が310万台減少すると予測されているなかでも¹、EVの販売は大幅に伸びると予想されています。EV販売台数は、増産に向けた工場の建設状況によって伸びに波がある可能性があるものの、EV普及の加速を受けて長期的に好調に伸びていく見込みです。



[1] Raimonde, Olivia. "Global Car Sales Expected to Slide by 3.1 Million This Year in Steepest Drop since Great Recession." CNBC, CNBC, 25 Nov. 2019, <https://arkinv.st/35bYEHYH>
上記の予測は、限定的なものであり、その信頼性を保証するものではありません。 | 出所: ARK Investment Management LLC, 2019 | EV-volumes.comからのデータに基づく。

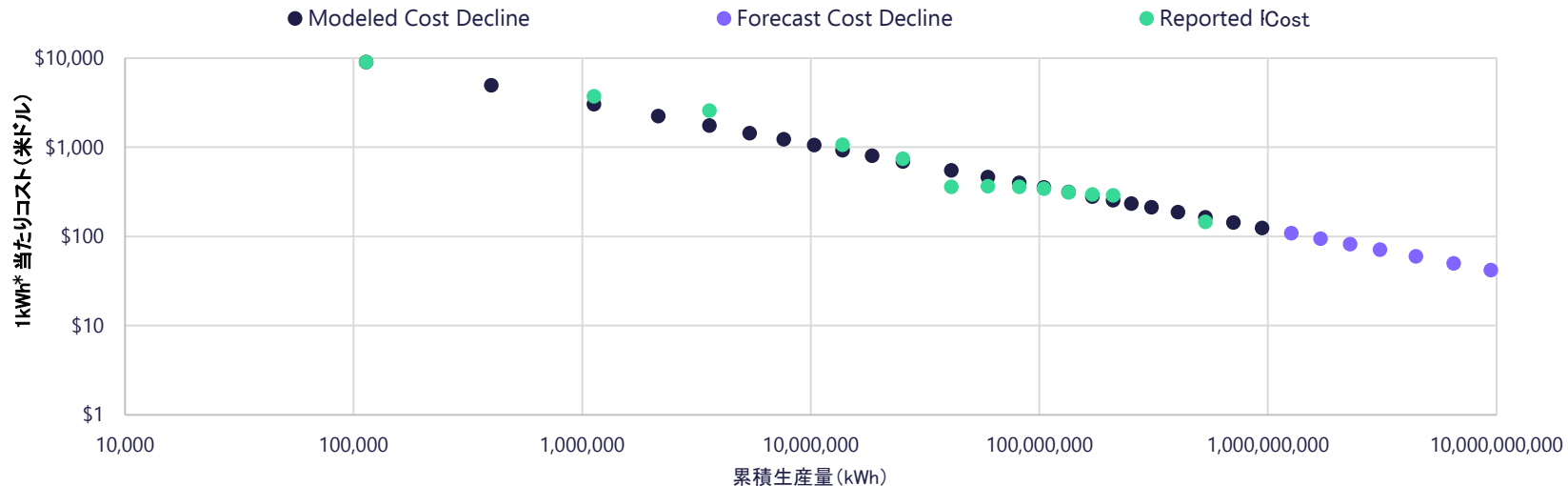


ライトの法則による蓄電池コストの低下予測

ライトの法則によると、蓄電池のコストは累積生産量が倍増する毎に18%低下するとみられています。

EVの部品のなかで最もコストが高いのは車載蓄電池であり、こうしたコスト低下はガソリン車と同等の価格を実現する上で不可欠となります。

ARKのリチウムイオン電池コスト低下モデル



* kWh: キロワット時

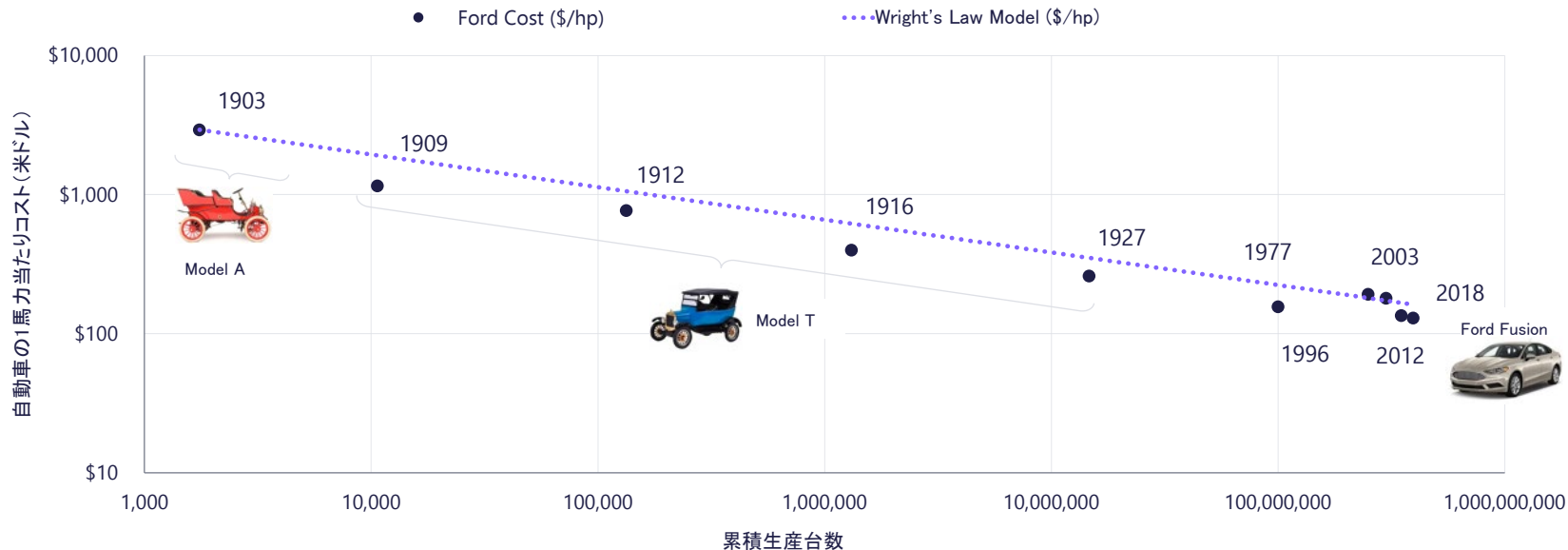
上記の予測は、限定的なものであり、その信頼性を保証するものではありません。

出所: ARK Investment Management LLC, 2019 | Avicenne Energy、国際エネルギー機関 (IEA)、Bloomberg New Energy Financeからのデータに基づく。



ライトの法則は100年超にわたる自動車コストの推移を正確に予測

ライトの法則による自動車産業誕生以降の自動車コストの推移
(インフレ調整後ベース)



出所: ARK Investment Management LLC, 2019
個別銘柄について言及していますが、当該銘柄の売買や保有を推奨するものでも、いかなる保証を提供するものでもなく、説明のみを目的としたものです。

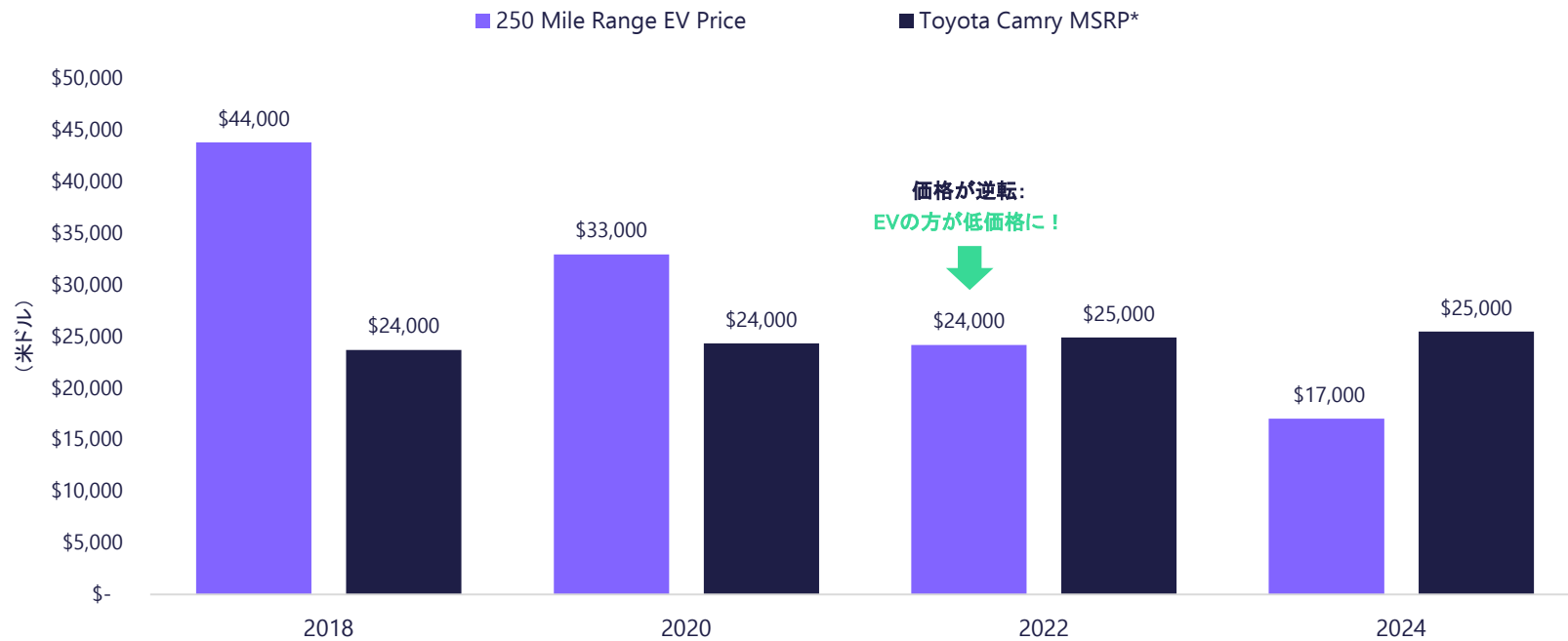


EVはガソリン車と同等の価格に迫っている

BIG IDEAS 2020



EVの価格水準



* MSRP: メーカー希望小売価格

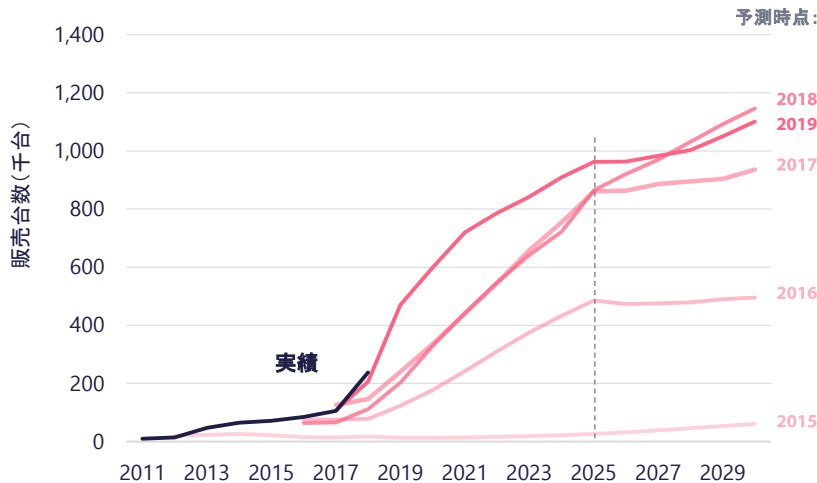
上記の予測は、限定的なものであり、その信頼性を保証するものではありません。| 出所: ARK Investment Management LLC, 2019
個別銘柄について言及していますが、当該銘柄の売買や保有を推奨するものでも、いかなる保証を提供するものでもなく、説明のみを目的としたものです。



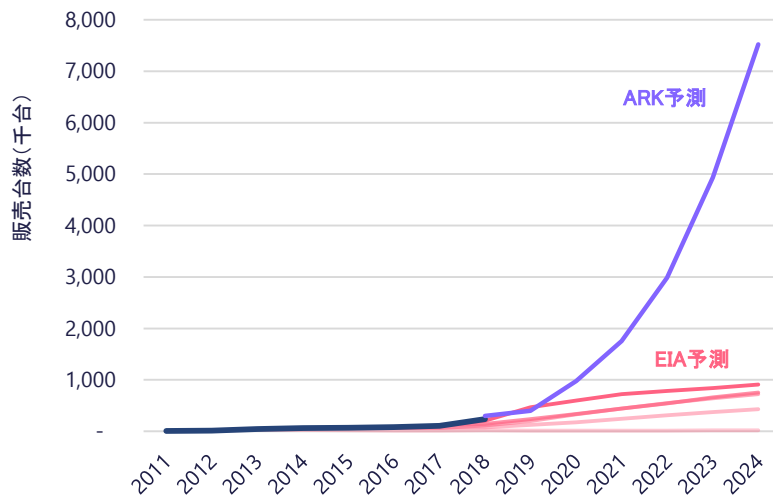
EIAはEV販売台数予測を一貫して上方修正

米国エネルギー情報局(EIA)は、米国のEV販売台数予測を大幅に引き上げているものの、伝統的な普及曲線を考慮しておらず、2025年を過ぎると伸びが緩やかになるとの見方を一貫して維持しています。

EIAの米国EV販売台数予測 (2015~2019年)



米国EV販売台数のEIA予測とARK予測の比較



上記の予測は、限定的なものであり、その信頼性を保証するものではありません。

出所: ARK Investment Management LLC, 2019 | "U.S. Energy Information Administration - EIA - Independent Statistics and Analysis." EIA, <https://arkinv.st/2F5SY7R>



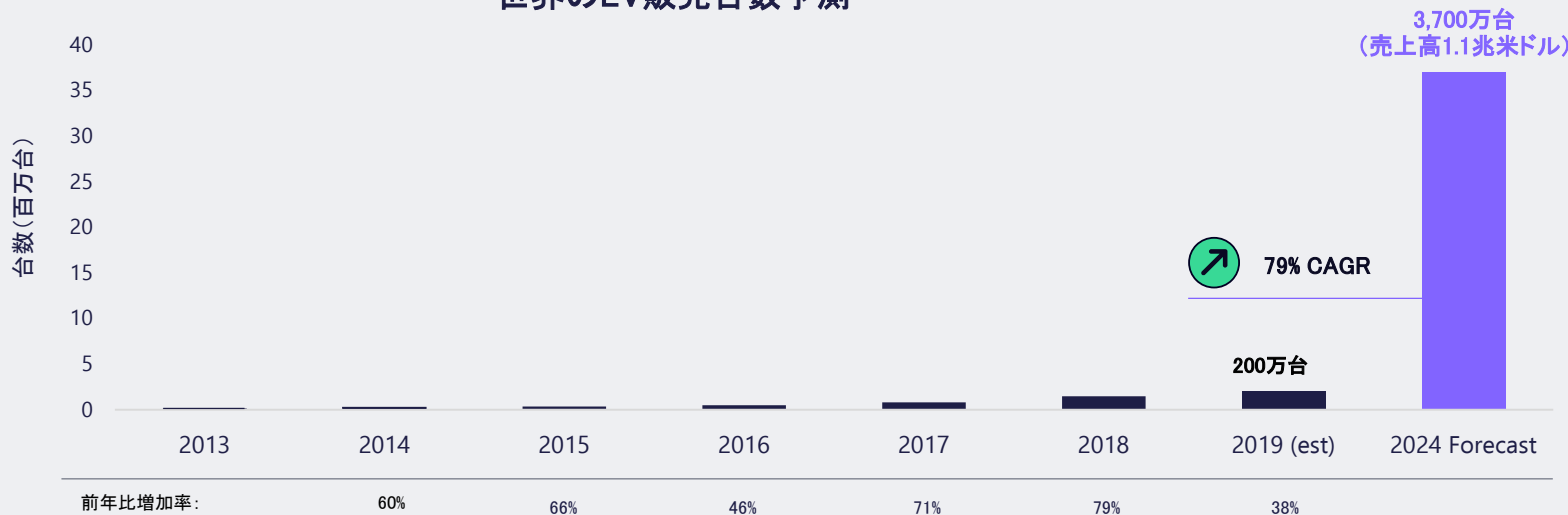
投資機会の規模



ARKの予測通りとなるかは、従来型の自動車メーカーがEV生産を拡大できるかにかかっています。

生産規模の拡大が実現されれば、世界のEV販売は**2024年に3,700万台**に達する可能性があります。

世界のEV販売台数予測

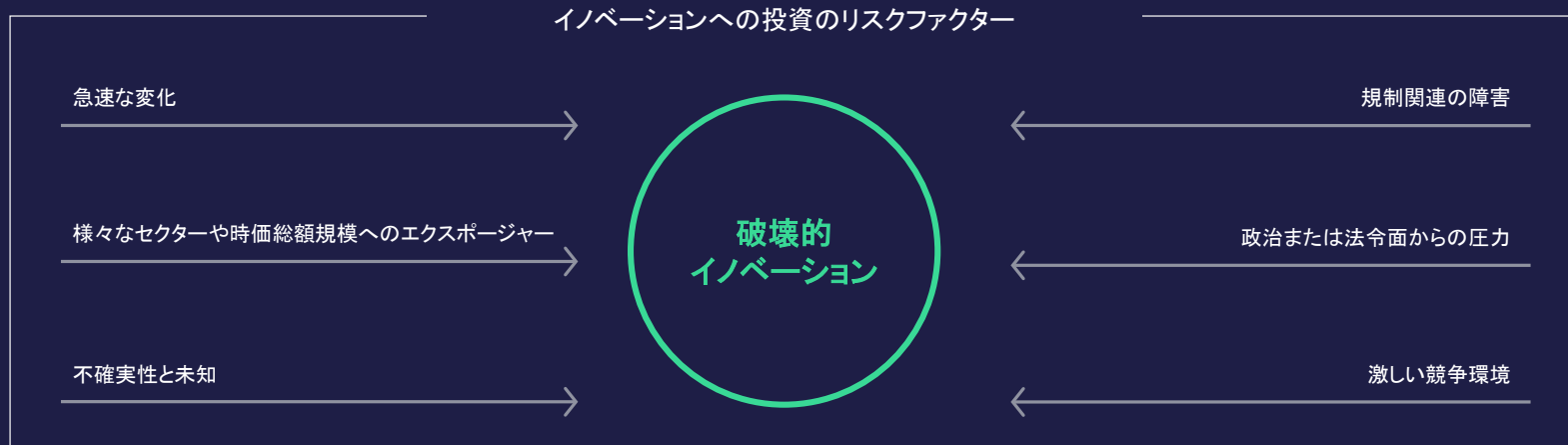


上記の予測は限定的なものであり、その信頼性を保証するものではありません。
出所：ARK Investment Management LLC, 2019 | EV-volumes.com からのデータに基づく。



ディスクロージャー 破壊的イノベーションへの投資のリスク

当該企業が破壊的イノベーションを活用しながら既存の技術に代わるテクノロジーを開発し、新しい市場を創出しているとARKが評価をしていても、それらが事実と異なる場合があります。ARKは、投資家の皆様に破壊的イノベーションに関する情報を紹介するとともに、その潜在的な投資機会の規模を提示することをめざしていますが、リスクおよび不確実性がARKの予測やリサーチモデルに影響を及ぼす可能性がある点にご注意ください。投資家の皆様は、当資料の内容をあくまでも参考情報として扱い、また市場リスク、破壊的イノベーション・リスク、規制リスク、特定のイノベーション分野に関連するリスクにも注意する必要があります。リスクに関するディスクロージャーを入念にお読みください。



→ トップダウンおよびボトムアップのリサーチを組み合わせ、テクノロジーについてのセクター横断的な理解をめざす

→ 規制、市場、セクターおよび個別企業リスクの理解をめざす（最終ページの「ディスクロージャー」をご参照ください。）



ディスクロージャー



破壊的イノベーションに関するより詳細なリサーチはark-invest.com/researchをご覧ください。

©2020, ARK Investment Management LLC. No part of this material may be reproduced in any form, or referred to in any other publication, without the express written permission of ARK Investment Management LLC (“ARK”).

破壊的イノベーションを活用し、従来のテクノロジーに取って代わる技術、または今後新しい市場を創出し得る技術を開発しているとARKが考えている企業は、競合他社、業界団体、または地方政府および中央政府からの政治的または法的攻撃を受ける可能性があることをご承知おきください。

ARKは各種のリスクと不確実性が当社の予測と研究モデルに影響を与える可能性があることは承知の上で、投資家を教育し、破壊的イノベーションの潜在的な可能性を拡張することを目指しております。投資家は、市場リスク、破壊的イノベーションリスク、規制リスク、並びに、ディープラーニング、デジタルウォレット、バッテリーテクノロジー、自動運転技術、ドローン、DNAシーケンス、CRISPR、ロボット工学、3Dプリンティング、ビットコイン、ブロックチェーンテクノロジー等に関連する各種のリスクに留意の上、情報提供のみを目的として掲載された当該コンテンツを使用してください。

当資料は情報提供を目的として作成した資料であり、予告なく変更されることがあります。当資料は明示的にも黙示的にもARKによるサービスや商品の勧誘資料ではないため、投資者の皆様は、特定のサービスがご自身のニーズに適しているか等について、弁護士、その他投資専門家に相談されることを推奨します。当資料内の企業および証券についてのすべての記載内容は、ARKの見解に基づくものであり、ARKによる個別企業・サービスの推奨、またはARKによる証券の売買または保有の推奨ではありません。記載されている過去の実績は将来の運用成果等を約束するものではありません。当資料には、将来の業績に関する記述やその他将来に関する記述が含まれている場合がありますが、これらの記述は当資料作成時点のARKの見解や過程に基づいたものであり、既知または未知のリスクや不確実性が含まれています。従って、実際の業績、事象などは記載されているものと大きく異なる可能性があります。ARKが米国証券取引委員会に提出する届出書には、当資料に掲載されている以外のリスクや不確実性が必要に応じて含まれている場合があります。ARKは当資料に含まれる将来に関する情報を更新する義務を負いません。当資料の情報はARKが信頼できると判断した情報に基づき作成されていますが、第三者から入手した情報の正確性・完全性を保証するものではありません。ARKおよびその顧客並びに関係者は、記載された証券または発行体に対して金銭的利益関係を有している場合があります。

ARK Investment Management LLC

3 E 28th Street, 7th Floor, New York, NY 10016

ark@ark-invest.com

- 当資料は、日興アセットマネジメントが「ARKのBIG IDEAS 2020」についてお伝えすることなどを目的として作成した資料であり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、当資料に掲載する内容は、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。
- 投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。
- 個別銘柄について言及していますが、当該銘柄の売買や保有を推奨するものではなく、当社ファンドにおける現時点での保有の有無、ならびに将来の組入れもしくは売却を示唆するものでもありません。